

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 国語

番号 観 点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
	東書（東京書籍）	<新しい国語> 101・102、201・202、301・302、401・402、501、601
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○[知識及び技能]の内容については、昔話や神話・伝承の読み聞かせを聞いたり読んだりして面白いと思ったところを発表する活動や、簡単な単語をローマ字で書いたり読んだりする活動、ことわざや故事成語の意味や使い方を調べる活動、古文を音読する活動、敬語の使い方を考える活動が取り上げるなどの工夫がされている。</li> <li>○話すこと・聞くことについては、聞いたことを正確に伝える活動や、メモを基に話の順序を組み立てて話す活動、司会や書記などの役割を決めて話し合う活動、資料を使って自分の考えを発表する活動、異なる立場から考えを生かして話し合う活動を通して、目標を達成できるように工夫されている。</li> <li>○書くことについては、メモを基に様子を伝える文章を書く活動や身の回りの人を紹介する文章を書く活動、本などで調べたことをレポートにまとめる活動、地域のよさを伝えるリーフレットを作る活動、資料を活用して報告する文章を書く活動、説得力のある意見文を書く活動を通して、目標を達成できるように工夫されている。</li> <li>○読むことについては、話の好きな場面を見つけて音読する活動や、動物の秘密について調べ紹介する活動、物語を読み想像したことを伝え合う活動、本の魅力を友達に伝える活動、新聞記事を読み比べる活動を通して、目標が達成できるように工夫されている。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「つかむ」において学習課題を設定して見通しをもたせるとともに、調べたことをカードに書いたり、事例と筆者の考えの関係を確かめたり、筆者の説明の仕方を考えたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>	
<p>内容の構成・ 排列・ 分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内容の構成・排列については、第1学年で手作りおもちゃの遊び方の順序を考えて話す活動、第2学年で宝物を選んで話の構成を考えて話す活動を取り扱っている。また、第3学年で設定を生かして想像を広げて物語を書く活動、第4学年で構成を考えて山場のある物語を書く活動、第5学年で意図を明確にしてインタビューする活動、第6学年で話し手の考えと自分の考えを比べる活動を取り扱い、6年間を通じて系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○内容の分量については、全学年において「話すこと・聞くこと」が5～13教材、「書くこと」が15～24教材、「読むこと」が11～19教材であり、総ページ数は前回に比べて第1～4学年で1～4%減少させ、第5・6学年で2～4%増加させている</li> </ul>	
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達に好きな教科について伝える活動や身近な人に手紙を書く活動を通して、相手意識や目的意識を明確にしている。</li> <li>○教材と関連のある図書を紹介した「こんな本もいっしょに」を全学年で掲載し、児童の学習意欲を高めるよう工夫されている。</li> <li>○全学年で身に付けたい「言葉の力」を提示して課題を明確にし、「ふり返る」で学習したことを確かめて成長を実感できるよう工夫されている。</li> <li>○巻頭に「国語の学習の進め方」や「〇年で学習する言葉の力」を設け（第2～6学年）、年間を通じて学習することを明確にし、国語の学習で身に付けた力や学び方を他教科等の学習に生かすことができるよう、使用上の便宜が図られている。</li> <li>○シンプルなレイアウトや色使いにより大事な情報に着目できるよう工夫されている。</li> </ul>	
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> <li>○1～4学年が上下の分冊、5・6年は合本になっている。</li> <li>○すべての学年に伝統的な言語文化にかかわる教材が掲載されている。</li> <li>○1・4・5・6年に北海道に関連する記述がある。</li> <li>○3・4・5・6年にURL・QRコードが掲載されている。</li> </ul>	

## 令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 国語

番号 観点	発行者略称	教科書番号
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	学図(学校図書)	<みんなと学ぶ 小学校国語> 103・104、203・204、303・304、403・404、503・504、603・604
内容の構成・排列・分量等		<ul style="list-style-type: none"> <li>○〔知識及び技能〕の内容については、かぞえうたを通して漢字を書いたり読んだりする活動や、簡単な単語をローマ字で書いたり読んだりする活動、ことわざや故事成語の意味を調べる活動、漢詩を朗読したり暗唱したりする活動や、日常よく使われる敬語を理解し相手や場面に応じて使い慣れる活動等が取り上げられている。</li> <li>○話すこと・聞くことについては、友達に伝えたいことを話す活動やグループで話し合って考えをまとめる活動、学級会で役割を決めて話し合う活動、パネルディスカッションを行う活動を通して、立場や意図を明確にしながら自分の思いや考えを広げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○書くことについては、観察して気が付いたことを書く活動や、紹介したいことについてチラシを作成する活動、構成を工夫して説得力が増す文章を書く活動を通して、自分の思いや考えを広げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○読むことについては、役割を決めて劇をする活動や、物語の内容や登場人物の魅力を紹介し合う活動、筆者の主張について友達と意見を共有する活動を通して、文章全体の内容を捉えて、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「学習のてびき」において学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、問いの文と答えを見つけたり、段落相互の関係を考えたり、事実と意見との関係を押さえ要旨をまとめたりするなどを通して、自分の考えを広げたり深めたりできるようになっている。</li> </ul>
使用上の配慮等		<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休みの思い出について学級で話し合う活動(第1学年)やお世話になった人などに礼状を書く活動(第4学年)を通して相手意識や目的意識を明確にする工夫がなされている。</li> <li>○全学年で教材と関連のある図書を紹介した「読書の部屋」を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○全学年で「学習のてびき」に学習のプロセスを示したり、「〇年生を振り返って」で一年間の学びを今後に生かせるようにするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○上巻の巻頭に「見つける・見つめる」を掲載して、身の回りから語彙や出来事を書きためることができるように(第2～6学年)工夫されている。</li> <li>○ユニバーサルデザインに配慮するなど使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> <li>○全学年が上下の分冊になっている。</li> <li>○すべての学年に伝統的な言語文化にかかわる教材が掲載されている。</li> <li>○2・3・4・6年に北海道に関する記述がある。</li> <li>○すべての学年でURL・QRコードが掲載されている。</li> </ul>

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 国語

番号 観点	発行者略称	教科書番号
	教出（教育出版）	<ひろがる言葉 小学国語> 105・106、205・206、305・306、405・406、505・506、 605・606
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○[知識及び技能]の内容については、民話や神話の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして面白いと思ったところを発表したりする活動や簡単な単語をローマ字で読み書きしたりコンピュータを使ってローマ字入力したりする活動、漢文の響きを味わいながら読む活動や日常よく使われる敬語の使い方に慣れる活動が取り入れられているところに特徴がある。</li> <li>○話すこと・聞くことについては、絵を見てお話をしたり学校のことを話したり聞いたりする活動、宝物についてみんなの前で発表したりやメモを取りながら話を聞いたりする活動、聞き手が納得するように話したり、お互いの考えを広げるために話し合ったりする活動を通して、目標を達成できるようになっているところに特徴がある。</li> <li>○書くことについては、知りたいことを調べて、クイズを作ったり、思い出して順序を考えて書いたりする活動やリーフレットや写真で効果的に伝えたり写真や図表を使って、わかりやすく書いたりする活動、随筆や物語を書いたり理由や根拠をはっきりさせた意見文を書いたりする活動を通して、目標を達成できるようになっているところに特徴がある。</li> <li>○読むことについては、登場人物の考えを想像したり、内容を説明できるように理解したりしながら読む活動や事実と意見を区別したり登場人物の変化に気をつけたりして読む活動を通して、文章全体の内容をとらえて自分の考えを広げることができるようになっている。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元末の「てびき」において、友達との交流を通じて、考えを広げたり深めたりする活動を通して、自分の考えを広げたり深めたりできるようになっている。</li> </ul>	
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内容の構成・排列については、第1学年で夏休みを思い出しながら質問し合う活動、第2学年で昔の遊びについて順序に気を付けて話す活動を取り扱っている。また、第3学年で調べたことから中心をきめて報告文を書く活動、第4学年で構成を考えてリーフレットを作る活動を取り扱っている。第5学年で根拠となる資料を用いて意見文を書く活動、第6学年で理由や根拠を示して意見文を書く活動を取り入れ、2学年を通して系統的・発展的に学習できるようにしているところに特徴がある。</li> <li>○内容の分量については、全学年において、「話すこと・聞くこと」が8～10教材、「書くこと」が14～25教材、「読むこと」が13～19教材であり、総ページ数はすべての学年で、前回より2～10%増量されている。</li> </ul>	
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スタートカリキュラムに活用できる活動や他の学年と交流する活動を通じて、相手意識や目的意識を明確にしている。</li> <li>○教材と関連した図書を紹介している「本を読もう」（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫が随所にみられるところに特徴がある。</li> <li>○全学年の「てびき」の部分に学習の進め方を示すとともに、「ここが大事」に汎用性のある学習ポイントが示されており、児童が主体的に学習に取り組めるようになっているところに特徴がある。</li> <li>○巻頭に各学年で学ぶことが分かりやすく、見通しが持てるように示されていたり、目次の目当ての部分が分かりやすく青字で示されている。</li> <li>○色覚などの特性を踏まえた判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、学びやすい紙面づくりに配慮するなど使用上の便宜が図られている。</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> <li>○全学年が上下の分冊になっている。</li> <li>○すべての学年に伝統的な言語文化にかかわる教材が掲載されている。</li> <li>○第2～6学年に北海道に関する記述があり、6学年には北海道（札幌）に関する教材がある。</li> <li>○すべての学年でURL・QRコードが掲載されている。</li> <li>○第6学年に発展的な学習内容を取り上げた教材がある。</li> </ul>	

## 令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 国語

番号 観 点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
	光村 (光村図書)	<国語> 107・108、207・208、307・308、407・408、507、607
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ [知識及び技能] の内容については、昔話の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして面白いと思ったところを発表する活動や、簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動、古文をリズムを味わいながら音読する活動、話し言葉と聞き言葉の違いに気付いたり敬語の使い方に慣れたりする活動などが取り上げられているところに特色がある。</li> <li>○ 話すこと・聞くことについては、身近なものについて問題を出し合う活動や、伝えたいことを理由を挙げて話す活動、事実と意見を区別して提案する活動、議題を決めてグループごとに話し合う活動などを通して、目標を達成できるようになっているところに特色がある。</li> <li>○ 書くことについては、生き物や仕事について報告する文章を書く活動や、事実と意見を区別して意見文を書く活動、構成を工夫してパンフレットをつくる活動などを通して、目標を達成できるようになっているところに特色がある。</li> <li>○ 読むことについては、自動車について説明した文章をノートにまとめる活動や、場面を比べながら読み感じたことをまとめる活動、伝記を読み自分の生き方について考える活動、複数の文章を読み考えたことを交流する活動を通して、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「学習」において学習課題を設定し、文章に書かれている内容を比べながら読んだり、本を読み分かったことを友達に知らせたりする他、文章の表現や構成に注意して要旨をまとめたり、筆者の考えに対する自分の考えを発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられているところに特色がある。</li> </ul>	
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、第1学年で好きなものとその理由について話す活動、第2学年で楽しかったことなどについて順序を考えて発表する活動を取り扱っている。また、第3学年で事例を複数挙げながら説明する文章を書いたり、第4学年で構成を考えて説明するリーフレットを作る活動を取り扱っている。第5学年で構成・第6学年で話し方や資料の提示を工夫してスピーチする活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるようにしているところに特色がある。</li> <li>○ 内容の分量については、全学年において「話すこと・聞くこと」は5～13教材、「書くこと」は17～24教材、「読むこと」は12～17教材あり、総ページ数は第1学年を除くすべての学年で、前回より4～16%増量されている。</li> </ul>	
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家の人に学校にいる生き物などを知らせる活動や、アンケート調査などを行いグループで新聞を作る活動を通して、相手意識や目的意識を明確にしている。</li> <li>○ 図書館の活用方法や多様なジャンルの読み物を掲載するなど、児童の学習意欲を高めるようになっている。</li> <li>○ 2～6学年で読みの学習過程を明示したり、明確な見通しをもって学ぶことができるようにしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるようになっている。</li> <li>○ 巻末の付録に「学習を広げよう」を掲載し、他教科や日常生活に広げて活用できるようにしている。</li> <li>○ 文字がやや小さい教材には、読みやすさを強調して作られたユニバーサルデザインフォントを使用し、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> <li>○ 1～4年が上下の分冊、5・6年が合本となっている。</li> <li>○ すべての学年に伝統的な言語文化にかかわる教材が掲載されている。</li> <li>○ すべての学年に北海道との関連を取り上げている資料がある。</li> <li>○ すべての学年でURL・QRコードが掲載されている。</li> </ul>	